

[数学Ⅲ] (指導と評価の年間計画)

教科	科目	単科教	指導学年	教科書名	副教材等
数学	数学Ⅲ	4	3	数学Ⅲ	クリアー数学Ⅲ+C

到達目標 (学習指導要領)	数学Ⅱで学んだ微分と積分において極限的な考えを明確にし、その後発展した応用分野への橋渡しとなりうる学習を目標とする。また同時に問題解決の技能の習得にも配慮する。
到達に向けての 具体的取り組み (指導上の留意点)	2学年からの学習内容と繋がるように授業の展開手順を工夫し、効率の良い内容理解を促す。問題集で解答練習をさせ、適宜プリント等で補充問題を課す。

月	単元・教材名	指導内容	評価の方法	評価の観点
4 5 6 7	分数関数 数列の極限 関数の極限 微分法 いろいろな関数の導関数	数学Ⅰの行列との関連に留意し、合成を繰り返すことによる極限についても考えが及ぶようにする 数学Ⅱで習った三角関数・指数関数・対数関数などの関数の微分について学習する	1学期中間考査、期末考査および平常点を考慮して算出	学習意欲、学習態度、課題レポートの内容および筆記試験
8 9 10 11 12	接線 関数の増減 いろいろな微分の応用 不定積分 定積分 面積	その他の関数の微分を学習することで、グラフが書けるようにする 区分求積法による面積の理解をベースに数学Ⅱで学んだ積分の見直しと発展を図る	2学期中間考査、期末考査および平常点を考慮して算出	同上
1 2 3	体積・回転体	積分の応用として色々な場面に活用できる力をつけさせる	学年末考査および平常点を考慮して算出	同上